



All Japan Road Race Championship 2022

RACE REPORT

SDG Honda Racing / SDG Motor Sports Racing Team HARC-PRO.



■SDG Media Information

2022 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ 第1戦 SUPERBIKE RACE in MOTEGI

栃木県・モビリティリゾートもてぎ (1周=4.801379km)
4月2日(土): 公式予選・JSB1000 レース1 JP250 決勝
4月3日(日): 決勝・JSB1000 レース2
観客動員数: 5,500人 (2日間合計)

JSB1000クラス #5 名越 哲平

マシン: Honda CBR1000RR-R タイヤ: BRIDGESTONE
レース1 予選: 欠場 決勝: 欠場
レース2 予選: 欠場 決勝: 欠場

JSB1000クラス #28 榎戸 育寛

マシン: Honda CBR1000RR-R タイヤ: BRIDGESTONE
レース1 予選: 11番手 (タイム: 1分51秒988) 決勝: 8位
レース2 予選: 12番手 (タイム: 1分52秒358) 決勝: 14位

ST600クラス #33 國井 勇輝

マシン: Honda CBR600RR タイヤ: BRIDGESTONE
予選: 4番手 (タイム: 1分53秒158)
決勝: DNF

ST600クラス #20 千田 俊輝

マシン: Honda CBR600RR タイヤ: BRIDGESTONE
予選: 23番手 (タイム: 1分54秒564)
決勝: 19位

J-GP3クラス #9 小合 真士 (SDG Motor Sports Jr. Team)

マシン: Honda NSF250R タイヤ: BRIDGESTONE
予選: 5番手 (タイム: 2分01秒473)
決勝: 11位

MFJ CUP JP250 国際クラス #71 赤間 清

マシン: Honda CBR250RR タイヤ: DUNLOP
予選: 14番手 (タイム: 2分15秒843)
決勝: 8位 (インタークラス: 5位)

MFJ CUP JP250 国際クラス #27 石井 千優 (SDG N-PLAN Racing)

マシン: Honda CBR250RR タイヤ: DUNLOP
予選: 欠場
決勝: 欠場

1 Motegi

2 Suzuka

3 Autopolis

4 Sugo

5 Tsukuba

★ Suzuka 8H

6 Autopolis

7 Okayama

8 Suzuka



SDG HARC-PRO. と共に新体制となった SDG RIDERS

全日本ロードレース選手権が栃木県・モビリティリゾートもてぎで、2022年シーズンが開幕。昨年は、新型コロナウイルスの影響を受けスケジュールが変更されたため、9月末に閉幕していたこともあり、異例となる長いシーズンオフとなっていたが、それでも開幕戦は、例年通りに慌ただしく準備に追われていた。



昭和電機株式会社が全日本ロードレースに復活した2014年から速くも9年目のシーズン。今年もHARC-PRO. を全面的にバックアップ。「SDG Motor Sports RT HARC-PRO.」として榎戸育寛がJSB1000クラスにスイッチして参戦。世界帰りの國井勇輝と千田俊輝がST600クラスに、赤間清がMFJ CUP JP250にと4人がエントリー。そして名越哲平がSDGファミリーに復帰。「SDG Honda Racing」としてJSB1000クラスにエントリーする。J-GP3クラスの「SDG Motor Sports Jr. Team」からは、小合真士が、新たにJP250を戦うN-PLANとコラボし「SDG N-PLAN Racing」から女性ライダーの石井千優が参戦と2022年は、SDGライダーが増殖。

しかし、3月上旬の鈴鹿テストで名越が転倒し負傷。石井も3月17日に、もてぎでの練習走行でアクシデントに巻き込まれ転倒負傷。残念ながら2名が開幕戦欠場を余儀なくされてしまう。



JSB1000 #23 Ikuhiro Enokido

前週に行われた事前テストからレースウィークも例年より気温が上がらず肌寒いコンディションとなった。開幕戦ということで、木曜日の特別スポーツからスタート。各ライダーは、マシンのセットアップを進めていった。

今シーズン、榎戸育寛は、ストック仕様のHonda CBR1000RR-Rでの参戦となる。昨年まで乗っていたST1000仕様と、ほぼ同じだが、タイヤがブリヂストンになったため、足回りのセットは全く違うものになってくる。昨年、ST1000クラスでポールポジションを獲得している、もてぎだけに、いい結果を残したいところだった。

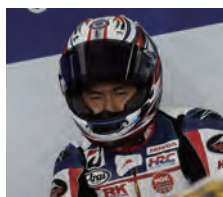
公式予選では、思うようにタイムアップできずレース1は11番手、レース2は12番手。ST600クラスの國井は、走る度にマシンを理解し、タイムを上げてくる。予選では、コースレコードを更新するタイムをたたき出し4番手と、世界帰りの実力を見せつける。ST600で2年目となる千田は、今年から最新モデルの

Honda CBR600RRにスイッチ。乗り換えに苦労しながらも、こちらも自己ベストを大幅に更新。國井に、いい刺激をもらっている。



ST600 #20 Toshiki Senda

土曜日に行われたJSB1000クラスのレース1。スタート直前にエンジンが止まってしまったライダーがいたため仕切り直しとなり、周回数は1周減算の14周で争われた。榎戸は、好スタートを決めオープニングラップを8番手で戻ってくる。予選での問題点を解決し、いいフィーリングとなったためコンスタントに1分51秒台で周回。そのまま8位でゴールしている。



JSB1000クラスのレース2は、スタート直前に降ってきた雨のため、まともなタイムがとれず、こちらも周回数が2周減算され21周となっていた。多くのライダーがレインタイヤをチョイスする中、榎戸は、スリックタイヤで勝負に出たのだが…。路面は予想以上に濡れており、コースに止まるだけで精一杯という状況だった。路面は乾かないと判断した榎戸は、オープニングラップでピットイン。レインタイヤに交換し、再びコースに出ていくと全力で攻めていく。最後尾から追い上げ14位でゴール。貴重な2ポイントを獲得したのだった。



ST600クラスは、ドライコンディションで行われ、全日本ST600デビューとなった國井がトップ争いを繰り広げ優勝の期待がかかったが、残り2周を切った15周目の1コーナーで無念のクラッシュ。2番手を走っていただけに悔しい結果となったが、次戦に期待がふくらむレースとなった。千田も昨年に比べれば、大きく成長した走りを見せ19位でチェッカーフラッグを受けている。



J-GP3 #3 Ogo Shinji

J-GP3クラスの小合は、昨年表彰台に上がっているだけに本人も期待して挑んだ開幕戦だったが、フロントの問題が解決できず11位と悔しい結果となっている。



JP250 #71 Kiyoshi Akama

MFJ CUP JP250は、土曜日に予選、決勝が行われた。赤間は混戦の中、ポジションを上げるレースを見せ総合8位、国際クラス5位入賞を果たしている。

■榎戸育寛コメント

「今シーズンからJSB1000クラスにスイッチしましたが、マシンはストック仕様なので、昨年乗っていたものと大差はありませんが、タイヤがブリヂストンになったことは大きいですね。難しいコンディションになったレース2は、スリックにかけたのですが、とても走れる状況ではなかったので、1周目でピットインし、タイヤを交換してもらってギリギリポイントが獲れたことは、よかったと思います。次戦の鈴鹿から2022年型になるので、マシンを仕上げて、いいレースをしたいですね」

■國井勇輝コメント

「まずは、こうして今シーズンもレース活動を行えることを感謝いたします。初めてST600クラスのレースをしたことで、タイヤの使い方や、レース終盤の走らせ方などを学ぶことができました。ただ、あの段階での転倒は、自分自身でもないと思いました。まだ勝負を仕掛けてなら納得いくのですが、完全に単独でしたから。久しぶりにトップ争いができ、苦しい中にも楽しさを味わえたので、次戦のSUGOは実は走ったことはないのですが、順応するのは得意な方だと思っているので、今度こそ結果を出したいですね」

■千田俊輝コメント

「ST600クラスで2年目のシーズンになりました。今年は、マシンが新型になり、まだまだ学ばなければいけないことがありますが、予選では自己ベストを大きく更新できました。それ以上に周りも速く、決勝でも、思うように追いつけることはできませんでした。國井選手という世界を走ってきたライダーが身近にいるのは、すごくいい刺激になります。次戦SUGOに向けて自分自身の課題をクリアできるように、しっかり準備します」

■赤間 清コメント

「まずは、今年もレース活動を続けられることを感謝いたします。今回のレースウィークは、調子がよく、公式予選では自己ベストを更新できました。決勝は、スタートが決まりポジションを上げられたことと、前のライダーが転倒したこともありましたが、インタークラスで5位入賞という結果で終わることができました。最終ラップにも順位を上げてゴールできたので、レース内容もよく、納得できる結果を久しぶりに残せたと思います。応援ありがとうございました」